

幸せの子年でありますよう祈りつつ  
新年のご挨拶を申し上げます



今年は「子」年。  
チュウたろうと  
申します。  
よろしくお願  
致します。

猪子ちゃん  
ありがとう

令和

門松は長久町延里 安道信様の手作りです

## さわらびの窓から

東方に聳える三瓶山は澄み切った冬空に恵まれ、令和初の新年を祝福するが如く輝いていました。

恒例の各施設へ新年の御挨拶廻りを、会長共々、午前七時『さわらび苑』をスタートし、長久町土江の『ゆうイングさわらび』へと車を走らせました。途中、川合町瓜坂の今はすっかり落葉を終え枯木となった、春を待つばかりの桜トンネルをくぐります。

…ふと一句。

冬桜

心に咲かせて

春を待つ

新年のよく晴れた日、百五歳の女性御利用者の方から、「この本は東京に住む娘から送って参りましたので、どうぞ御覧くださいませ」と。

それは【令和の御代を迎えて】皇室のご動静の写真集でした。

その写真集には、全国各地を御訪問の公務に臨まれるにあたって、歴史や文化等もよく御研究なされ、お学びになつておられることに感服。昨夏の沖縄御訪問の際には「沖縄の食べ物は何がお好きですか？」との子供達の問いかけに「スターフルーツが大好きですよ！」とお応えなさつたそうです。



社会福祉法人 放泉会

統括苑長 瓜坂 恭子

大正・昭和・平成・令和と…人生百五歳を生きて来られた大先輩からお借りした【令和の御代を迎えて】老いてこそ輝く人生の収穫とは…。

学ばせて頂いた一瞬でした。(感謝)

今年三瓶山の植樹祭に向けて、今上天皇はどんな御質問をお応え頂けますでしょうか…。三瓶山に令和の歴史が輝きますように。

本年も皆様の変わらぬ御指導の程をどうぞよろしくお願い申し上げます。



こころはあい  
人は心

新年会

1月11日、新年会を心を込めて開きました。

まずは鏡開きから。〈人間お鏡餅〉が登場。ご利用者の皆様に“肩たたき棒”で強打?? いえいえ優しく叩いてもらった後、本物の鏡開きで今年の無病息災を願いました。

そして、毎年恒例の二頭の手作り獅子舞が登場。会場からは「わあ〜」という歓声があがりました。ご利用者様一人一人の頭を噛んで歩く獅子舞ですが、かなり早い段階で体力の限界? が来たのか足元がおぼつかなくなる場面も。しかし皆様の「がんばれー」「あと半分!!」という応援の声で元気を取り戻した獅子舞たちは無事全員の頭を噛み終わりました。ありがたや、ありがたや。

これできっと皆さま元気にお過ごしになれることでしょう。

この日会場には、新年のお祝いに数名の法人役員と介護相談員の方が同席下さいました。この楽しくも温かい雰囲気



人間鏡餅です



〜ご利用者様に聞いてみました〜

Q. どんなお正月でしたか?

A. (T.H様) おせちや雑煮があって、昼から饅頭をもろたりして、ご馳走でした。

雑煮はカツオと昆布のダシがきいて美味しかったです。私の生まれたところは、四角い餅で、いろいろ入れるが、こちらの方があっさりして美味しいですよ。

福笑いをしてみんなで大笑いして。私は〈鼻〉をもろたがね。面白くなるようにと思って付けました。

(E.A様) 獅子舞が出てね。頭を噛んでもらったでな。私の事だけな、ここも(お腹)噛んどくれゆうて、噛んでもらった。福笑いは賑やかで、お腹かかえて笑いました。

Q. 二人羽織もあったそうですね。

A. (E.A様) (食べ物を) あそこ(おでこ) やここ(ほっぺ) やら八方にやっちゃるけ、大笑いしました。

(M.M様) 何かスプーンですくってやっちゃったです。楽しかった。あんなものがあつたがいいですよ。心が和みます。

でも、私はカップラーメンをやったら良かったのにも思いますよ。おでんでもええかもな(笑)(笑)

どの方も笑顔で話して下さいました。楽しく過ごして頂けたようで、嬉しい限りです。



じゅし 寿詞

元校長先生である福田清美様はこの程、全国連合退職校長会より長寿の寿詞をお受けになられました。

現在ゆうイングのデイサービスをご利用頂いており、大田市退職校長会の岩根会長様がゆうイングへ出向かれ、御利用者の皆様と共にお祝いさせて頂きました。

贈呈式では、パリッとスーツに身を包まれ、そのお姿はまるで教壇に立たれていた頃のように。現役でご活躍なさっていたときにタイムスリップされたひとときではなかったでしょうか。



お写真の掲載は御本人様及び御家族様の同意を得ています

デイサービスセンターゆうイング 歌声喫茶

昨年10月より、毎週デイサービスの御利用者様が楽しみにしておられる藤原正明氏による歌声喫茶。事前に御利用者様からリクエストを出して頂き、藤原さんのギター演奏に合わせ皆さんで楽しく歌っています。

1月9日、お正月明けという事もあり、篠笛で神様をお呼びする笛の音が高らかに響き、今年初めての歌声喫茶が始まりました。まずは、『一月一日』のリクエスト! お正月には欠かせないこの一曲、ご利用者様は歌詞を見ずとも歌える曲です。出雲大社の宮司千家尊福さんが作詞をされたというお話も教えて頂きました。他にも今年は東京オリンピックの年という事から前回大会のテーマソング『東京五輪音頭』のリクエストもあり、今夏の東京オリンピックへ向け、期待感が高まります。

歌っておられるときのご利用者様はいつも以上に笑顔が輝いています。今年も皆様と一緒に大きな声で歌って朗らかに過ごすことが出来るでしょう。

子年の幕開け 〈グループホームさわらび〉

12月28日、ご利用者の皆様とお餅つきをしました。餅をちぎったり揉んだり、その手際の良さであつという間に2升のお餅がつきあがりました。元旦にはそのお餅でお雑煮をいただきましたが、自分でついたお餅の味はやはり一味も二味も違うと皆様ご満悦。

また、今年の干支は「子」。皆さんと一緒にちぎり絵の「ねずみ」が完成しました。各お部屋にはご自身で作られたお正月飾りを飾り、まん丸お餅のようにまあ〜るくにつこり笑顔で、皆様元気に新年を迎えることができました。

今年も良い年になりますように!!

「サンキュー♡年賀」

昨今はスマートフォンを持つ人がほとんどで、年賀状もSNSで済ましてしまう時代になっています。そんな中、郵便局の取り組みとして「お正月に年賀状のやりとりを通じて手紙の楽しさや喜びなどを体験してほしい」という手紙振興支援事業の企画があり、放泉会も少しですが御協力させて頂きました。

長久小学校5年生の皆様が「手紙の書き方体験授業」で書かれた年賀状を、ゆうイングとグループホームの御利用者様に年賀状を送って下さいました。受け取られた利用者の方は小さな贈り物を大変喜んでおられ、中には「頂いてばかりではいけないので早速お返事を書かなくては…」とお返事を書かれた方もありました。

日本の伝統文化のみならず手紙で人と繋がる喜びを感じてもらえた取り組みに、お互いを思いやることの大切さを学ばせて頂きました。



年賀状の一部をご紹介します。ありがとうございます。



## 子ども神楽

1月3日、毎年恒例の土江子ども神楽の皆様が初舞に来て下さいました。

今年の演目1番目は「頼政」。まず登場したのは小さな子ザルたち。神楽を始めたばかりの子どもたちが演じます。その子ザルの可愛らしさに、この日を待ちに待っておられたご利用者の皆様の顔が一気に笑顔になり、「わあ〜、かわいいねえ」と囁きがもれ出しました。

頼政が弓で「鶴」を射るクライマックスでは、迫真の舞に皆息を呑むほどでした。



演目の2番目はお馴染みの「八岐大蛇」。八頭の大蛇が会場狭くと暴れまわり、これまた迫力の舞にご利用者様の中には涙を流して喜ばれる方も。年々上達する子ども神楽の皆さんの成長を来年も楽しみに待ちたいものです。



## 新年こぼれ話

### 頑張るぞー!!

私は、老人福祉施設で働き始めたばかりの新人です。今年のお正月、初めてゆうイングで過ごしました。おせち料理を作るお手伝いもさせて頂きましたが、とても大変でした。

ですが、元旦ご利用様が目をキラキラさせおせちを食べておられる姿がとても印象的でした。大変だったけれど頑張ってよかったと感じました。

あるご利用様がおせち料理を召し上がった後、自ら車椅子で厨房、そして下膳室に来て下さり、「おせち料理見事です。お世話になりました。いつもいつも本当にありがとうございます。」と感謝の気持ちを伝えて下さったのです。私はその方の心の温かさにとっても感動しました。今年一年も頑張ろう！これからも、もっと頑張ろう!!と思えた瞬間でした。(管理栄養士 Y・A)

## ゆうゆう学童クラブの苦悩 (!?)

世間では、少子高齢化が問題となっている昨今ですが、この長久は若い世帯の増加に伴い、園児・児童の人口も年々増えてきています。

そこで、近年ではこの時期になると学童クラブでは非常に頭を悩ます問題が…。というのも、受け入れ可能な定員以上の申し込みを頂くためです。

本当は、申し込みをして頂いた皆様全員を受け入れたい、しかし安心、安全にお子様をお預かりするには、どうしても全員を受け入れられず、毎年ここから苦悩が始まります。

ご家庭の祖父母様がおられるか否か?等々一定の基準を設け、選定をし、どうしてもお断りせざるを得ないご家庭が出てきてしまうのです。学童クラブとしては、本当に苦しい、まさに“苦渋の決断”。

ゆうゆう学童クラブを選んで申し込みいただけることに、この場を借りて感謝申し上げます。今後も一層安心、安全に楽しくお過ごしいただけるよう、スタッフ一同精進して参ります。

## 古き良き想ひ出

元旦、お雑煮を食べながらあるご利用者様が、「昔は自分たちも、もち米を作りその米で餅をつくのが楽しかった。昔は何でも一から自分たちで作ったものだ。田園が広がる長久も、今はゆうイングもあり、保育園(チャイルド)もある。次はさわらび苑も建つと聞く。時代が変われば景色も人々も変わるもんだな。」と話されました。それを聞かれていた他のご利用者様も口々に昔を懐かしんでおられました。

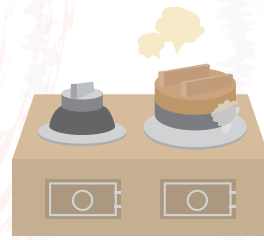
さわらびグループが長久の地でこれから皆様の良き思い出を刻んでいけるように精進していこうと思った職員でした。



愛は人

## 古き良き思い出

昨年12月餅つきをしていた時、同世代(60代)の職員との昔話です。昔は土間の台所に、くど(かまどの方言)が2つあり、1つにはせいろうの中にもち米が蒸され、隣には小豆が美味しそうに炊ける鍋がかかっていました。



土間には臼と杵が準備され父と母が調子よく餅をついており、その横で祖母と私は、大きな一枚板の上に粉をひいて餅がつきあがるのを今か今かと待ち受けていました。

母がつきたてのお餅でぜんざいを作ってくれるのが、年末一番の楽しかったという思い出。同世代以上でなければ通じない!?

## 初詣に行ったよ

1月6日、チュウたろう君(ゆうイング厨房職員の手作りぬいぐるみです)と一緒に年初めの会をした後、各クラスが土江神社へ初詣。かわいい手で「パンパン」と拍手を打ち、今年も「元気に遊べますように!」とお願いして帰りました。



## 七草がゆを作りました

日本には古くから、1月7日に七草がゆを食べる風習があります。

さんさん組では当日朝、家庭で七草がゆを食べたお友達もいましたが、春の七草を見たり、匂いをかいだりしながら七草がゆクッキングをしました。

七草を細かく刻んでお米から七草がゆを炊きました。包丁の扱いもなかなかのもの。上手に切っていましたよ。出来たてのおかゆを午後のおやつにいただきました。元気にこの一年を過ごすことが出来ますね。

春の七草「せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ」日本の文化を大切に、子どもたちに伝えたいものです。



# サンシルバーさわらび

## 建設進捗状況

### 四階まで立ち上がりました

サンシルバーさわらびは昨年未だに四階まで立ち上がりました。屋根の瓦葺は今月下旬の予定です。まだシートで覆われているため外観が見えませんが、外壁塗装が終る二月下旬には姿を現します。楽しみにしてくださいね。

### 内部工事を進めています

たくさんの方の作業員さんで内部工事が進められています。壁のクロスや床の下地がどんどん貼られていきます。目玉のライトコート(吹き抜けの中庭)は三月初旬に出来上がります。作業員の皆さん、お世話になります。事故のないようお願いいたしますね！

※写真家の藤井保氏にライトコートの壁面デザインを手掛けて頂いています。(デザイナーさんへは生家で地域の方々の語らいの場として親しまれています)

### 四月十一日は何の日？

四月十一日は放泉会にとって、とても大切な日で、さわらび苑の開苑記念日です。さわらび苑は昭和六十年四月十一日に三瓶町池田で開苑しました。この記念すべき日にサンシルバーさわらび竣工式が行えるよう、頑張っているとところです。

### 近隣の皆様へ

工事が始まって早十カ月が経過しました。この間、工事現場の騒音や振動、大型車両の往来等で近隣の皆様には大変にご迷惑をおかけしておりますこと、お詫び申し上げます。工事もあと二カ月となりましたが、ご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

建設委員会・近藤



1階共同生活スペース

## 職員紹介



### 安達 裕久

私は放泉会に入職し10年。福祉に携わり13年が経過しました。その中で、介護職に必要なのは「人間性」や「ケアの質向上を目指すこと」の外に3点があると思います。

一つ目は、日々ご利用者と接する中で個別の趣味や希望を把握し、それを実現できるようにしていく事。

二つ目は、科学的根拠に基づいた介護を実践する事。様々なデータに基づいて取り組むことが、職員の業務負担の軽減や利用者の快適・安心にも繋がると感じます。

三つ目は、自ら考え行動する主体性や協調性です。介護は世間では「単純労働」と捉えられがちですが、介護は複雑で「多岐に渡る専門性」を必要とする仕事です。専門性が高く、総合力が求められる仕事に就けたことを誇りにして今後も頑張りたいと思います。

夜勤明けの撮影でも爽やかな笑顔



### 木志 桂一

大田高校卒業後、広島大学へ進み、経済について4年間勉強しました。在学中に児童福祉について興味を持ち、卒業後は児童福祉関係へ。平成22年、ご縁を頂き、放泉会へ入職。初任者研修や介護の専門学校を卒業したわけではなく、介護について、右も左も分からない状態でした。戸惑うことや沢山の失敗をし、職場の方々の教えや支え、背中を見て少しずつ介護について学びを深め、実践できるようになっていきました。

10年目に入り、前にだけ意識を向けるのではなく、自分が見せて頂いた数々の背中になんか、前に向かいながら、自分の背中にも意識していきたいと考えています。

撮影当日は新年会、紅白の制服でめたくさを添える心くばり

## ある日の朝礼から

放泉会では、朝礼の一部で、その日の担当者が「職場の教養」を読み上げ、その内容について、自分の感想をスピーチします。一日のうちほんのわずかな時間ですが、自分の考えをまとめ、内容と合っているか等、事前に準備をして当日を迎えます。

人それぞれ、いろいろな考え、体験から生まれる感想は、思わず納得し、身近なこととして自らを成長させてくれます。

### ある日の1話から

〈笑顔の効果〉 笑顔は作ると不自然で、なかなか思うようにいきません。かと言っていつも笑顔でいるのも難しいと思います。ちょっと心にゆとりを持つと自然に笑顔も生まれ、人とのかわりもスムーズに、そして仕事にも生かされます。そこから物事に対する感動、感謝の心も生まれます。やっぱり、基本「笑顔」ですね！！

これからも朝のひと時、あのワクワク、ドキドキ感を楽しみながら自らの成長の糧としたいものです。

※「職場の教養」は当法人龍岩明彦理事より毎月届き、職員はありがたく(?)拝読しております。

## さわらび調理スタッフの想い

—開苑まで80日—

さわらび苑開苑より34年間もの長きにわたりお世話になった厨房とも、あと3ヶ月でお別れとなります。寂しさ半分、嬉しさ半分の気持ちですが、三瓶で過ごす残された時間に「ありがとう」と感謝の気持ちを込めて現在も日々調理しています。

振り返ってみると、34年前、建設中のさわらび苑を見乍らミーティングしたあの日。再び建設される時が来るとは思ってもみない事でした。(私達の年齢をご想像ください。笑)

4月からは、四方に広がる素晴らしいロケーションの中で食事を召し上がっていただけます。食とロケーションの調和を目指し、喜びを更に感じて頂けるよう、新しい挑戦に向かってスタート！



## 稲積庵初釜

山田社中の皆様、茶室を冬の設えにしてくださいました。その後はさっそく初釜。

お軸は如何？稲積庵の歴史と存分に戯れられたのでしょうか？

今年も多くのご利用をお待ちしております。

連絡先：0854-84-0101  
ゆうイングさわらび



## 編集委員のつばやき

清楚な白い花を付けた水仙の花を「今年も我が家の庭で美しく咲き誇っていたよ！」とNさんが奥様の為にかつて住み慣れた家の香りを届けて下さいました。凜としたその花姿は、高貴な香と共に見る者の心を引き付けます。

サンシルバーさわらび建設の進む中、この水仙の花のように、これまでの歴史をふまえた上で、今まで以上に皆様から愛される新しい「花」が咲きます様にと願いつつ…編集子も令和に向かってスタート!! (担当：竹下豊子・和田洋子・小川 景・佐竹美香)